

東京DMAT連携隊との活動について

1 東京DMAT連携隊の必要性

- 東京DMATは災害現場での活動を基本としており、安全確保のため東京DMAT連携隊と活動している。
- 平成30年3月31日からキーワード出場※の運用が開始となり、出場件数が増加している。
※「脱出不能」「全身又は体幹部の下敷き又は挟まれ」「高エネルギー」
- 出場する災害現場は二次災害の発生危険が高い現場が大半を占めていることから、隊員の受傷事故防止に細心の注意を払う必要がある

2 「災害医療派遣チーム（東京DMAT）運営要綱」

- 第2条6「東京消防庁は、東京DMATを現場へ搬送し、また、現場で活動支援を行うため、東京消防庁東京DMAT連携隊を編成する。」
- 第2条7「東京DMAT連携隊と一体的に活動することを原則とする。」
以上のことを記載している。

3 再確認事項

- 東京DMATの出場における安全確保の徹底を図るため、災害医療派遣チーム（東京DMAT）運営要綱に基づいた活動で統一する。
- 出場から帰院するまで東京DMAT連携隊と活動する。
- 活動原則である消防隊等により安全が確保された範囲で活動する。
（DMAT連携隊はDMAT隊員の安全管理に特化している。東京消防庁においても活動隊の他に安全管理隊を配置して活動している。）
- 災害医療派遣チーム（東京DMAT）運営要綱に基づかない活動は東京DMATの活動として認められない。

4 今後の取組

- 東京DMAT連携隊との一体的な活動の徹底について、令和6年度中に通知を発出する。